

標 題 : An observational study of sequential protein-sparing, very low-calorie ketogenic diet (Oleoproteic diet) and hypocaloric Mediterranean-like diet for the treatment of obesity.  
肥満の治療を目的とした一連のタンパク質節約、超低カロリーケトン生成食事 (Oleoproteic diet) および低カロリー地中海類似食事の観察研究

---

著 者 : G. Castaldo, et al. (イタリア A.O.R.N. "San Giuseppe Moscati" 臨床栄養部)

---

掲 載 誌 : Int. J. Food Sci. Nutr. 2016 Sep; 67(6): 696-706

---

要 旨 :

異なる食事で構成されるリハビリテーションの多段階の食事療法計画は、ほとんど研究されなかった。

非盲検研究で、73人の肥満患者が2期間の体重減少計画を受けた: 3週間のタンパク質節約、超低カロリー、ケトン生成食事(<500kcal/日; Oleoproteic® Diet) および6週間の低カロリー(25-30kcal/理想体重kg/日)、低血糖指数(GI)、地中海類似食事(hypo-MD)。

両方の期間はともに、内臓脂肪症、肝臓酵素、GH(成長ホルモン)値、血圧、およびグルコースと脂質の代謝を改善した。

しかし hypo-MD は、血中脂質およびグルコース耐性数値の再上昇の原因であった。

内臓脂肪症およびグルコース調節-関連変数の変化は、メタボリックシンドロームの患者でさらに着実であった。

しかしこれらの患者で、hypo-MD はグルコース調節-関連変数の一貫した再上昇をもたらさなかった。

ケトン生成療法を含み次にバランスの取れた地中海食事が続く食事療法計画は、実行可能で、特にメタボリックシンドロームの患者で心臓血管系リスクの低下に有効と思われる。

キーワード : ケトン生成食事、地中海食事、肥満、体重減少

---